

起震車体験について



最大クラスの南海トラフ地震が発生すると、梶原町では震度6弱～6強の揺れが2分程度続くと想定されています。震度6強の揺れの中では、人は立ってられず、はわないと動けない状況になります。そのような揺れを起震車で体験して、地震が発生した場合を想像し、どのような備えが必要か、考えてみませんか？

★日時：10月19日(土) 10時～13時

★場所：ゆすはら・夢・未来館 横の駐車場

※荒天時は中止になる場合があります。

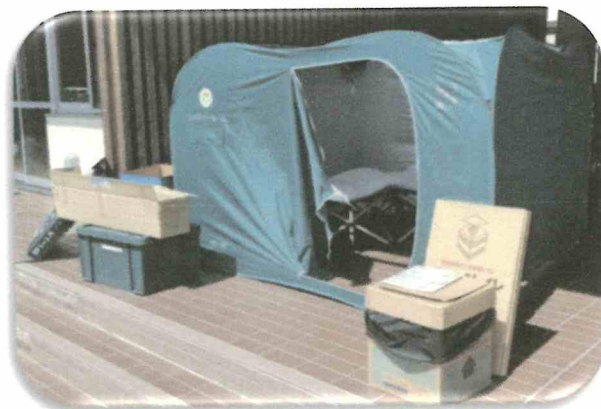
その他

●住宅の耐震改修パネル展示

●災害用浄水装置で足湯体験

●災害用非常食の試食会

●防災グッズの展示



芸術祭に合わせて
ぜひお越しください



災害用浄水装置メーカーが開発した
【災害用シャワー浄水ユニット】
AQUA Shower Rescue
アクアシャワーレスキュー



【お問合せ】
梶原町役場 総務課 危機管理係
☎65-1111



令和7年度 梶原町耐震補助金要望調査



梶原町では、地震による住宅の倒壊被害を少しでも防ぐため、木造住宅の耐震化事業にかかる費用の一部を助成しております。以下の事業を検討している方は11月実施予定の要望調査にてお知らせください。

※要望調査時に要望のなかったものについては、受付できない場合がありますのでご注意ください。

【補助対象事業】

※いずれも昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅が対象になります。

※事前申請となりますので、事業実施前に申請してください。

○耐震診断



木造住宅耐震診断士による耐震診断を行い、住宅の弱い箇所、耐震性を把握し、説明を行います。

診断にかかる費用の9割補助

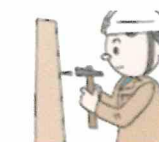
○耐震改修設計



診断の結果、耐震性が低かった場合、設計士が必要な箇所を重点的に補強する改修工事の方法、工事費用がいくらになるかの設計書を作成し、説明を行います。

設計に係る費用の9割補助（補助上限27万円）

○耐震改修工事



耐震改修が必要な木造住宅について、工事費の一部を助成します。

改修工事に係る費用の9割補助（補助上限165万円）

補助上限額が
引き上げられました！
(R9年度まで)



振動実験結果 出展：独立行政法人防災科学技術研究所

避難路に接しているブロック塀の撤去
又は安全なフェンス等への改修に対し
ての補助もあります。

【お問い合わせ】
梶原町役場 総務課 危機管理係
電話：65-1111

スローライフ・フォーラム in ゆすはら

参加無料

集落と、若者と。

令和6年
とき 11月10日(日)13時～15時(開場12時30分)

ところ ゆすはら座(大正時代に建てられた高知県唯一の木造芝居小屋)
住所: 梶原町梶原1496番地1

各地の「集落」では住民、老若男女が助け合い、自然風土に合わせた暮らしを営み、それぞれ特色のある文化を育んできました。いま全国ですすむ人口減少のもとで、「集落」はどうあるべきか、それを支える若者には何が求められるのか。6つの「集落活動センター」で町内全域をカバーする梶原町で、一緒に考えてみませんか。

【登壇者(予定)】(敬称略)



濱田 省司(はまだ せいじ)
(高知県知事)
昭和60年自治省(現総務省)入省。大阪府副知事、総務大臣官房総括審議官(マイナンバー情報連携、政策企画)等を務め、令和元年8月総務省退職。令和元年12月の知事選で初当選。現在2期目。四万十市出身



吉田 尚人(よしだ ひさと)
(梶原町長)
昭和58年梶原町役場へ入庁。総務課長補佐などを経て平成13年に退職。平成14年より四万川郵便局長を勤め、平成22年より副町長へ就任。平成29年12月の町長選で初当選。現在2期目。梶原町出身



神野 直彦(じんの なおひこ)
(東京大学名誉教授)
大阪市立大学経済学部助教授、東京大学大学院経済学研究科・経済学教授、関西学院大学人間福祉学部教授、地方財政審議会会長、日本社会事業大学学長などを経て、東京大学名誉教授・日本社会事業大学名誉教授。著書として『財政と民主主義』(2024年) 岩波書店など多数。



増田 寛也(ますだ ひろや)
(日本郵政社長)
前岩手県知事、元総務大臣。2014年著書『地方消滅 東京一極集中が招く人口急減』により、このままでは900近い自治体が消滅しかねない、と警鐘を鳴らし衝撃的なデータを示す。一貫して、人口減少問題を社会に問い続けている。



中村 桂子(なかむら けいこ)
(JT生命誌研究館名誉館長)
生命誌研究者、理学博士。早稲田大学人間科学部教授、大阪大学連携大学院教授などを歴任。常に「人間は生き物である」の視点で社会に提言をしている。著書に『中村桂子コレクション いのちの愛づる生命誌Ⅰ～Ⅵ』ほか多数。



野口 智子(のぐち ともこ)
(ゆとり研究所)
2000年、ジャーナリスト 故・筑紫哲也らとスローライフ運動を始める。これまでに25以上の自治体と「スローライフ・フォーラム」を企画・運営。住民参加の地域づくりを展開、「つながりコーディネート」として繋がる場づくりに力を注ぐ。

午前中に分科会を開きます!!

全国から参加の「スローライフの会」の皆さんと、地元住民が語り合い、その内容を午後から発表。パネルディスカッションに反映させます。

- ・日時：令和6年11月10日(日) 9時30分～11時30分
- ・場所：未来館(梶原町役場横：梶原町梶原1426番地2)
- ・テーマ：「集落と若者と」

【アドバイザー・進行】



川竹 大輔(かわたけ だいすけ)
(高知大学理事特別補佐)
高知市出身。三重県津市議会議員、橋本大二郎高知県知事特別職秘書、安芸市助役などを経て、2016年から高知大学勤務。著書に『よさこいは、なぜ全国に広がったのか 日本最大の交流する祭り』。学生の地域愛着を促す地方創生推進を担当。



坪井 ゆづる(つばい ゆづる)
(地方自治総合研究所客員研究員)
朝日新聞政治部記者、編集委員、論説委員、夕刊コラム「素粒子」担当及び京都大学法学部客員教授、日本記者クラブ企画委員なども歴任。現在は「スローライフの会」共同代表、メルマガ「スローライフ瓦版」編集長。

分科会ではみんなで深く話し合うため、
大人数にならないよう同じテーマで2つの分科会を設けます。
それぞれに、参考事例の発表者を設けます。

私たちも参加しま～す!



四国カルスト

問合せ・申し込みについて

■地元の方は「スローライフ・フォーラムinゆすはら実行委員会 事務局」まで
〒785-0695 高知県高岡郡梶原町梶原1444-1梶原町役場 まちづくり産業推進課地域振興係 気付
TEL: (代表) 0889-65-1250
フォーラム参加に申込はいりません。直接会場にどうぞ。分科会参加希望の方はご一報ください。

■「スローライフの会」関係の方は、11月9日(土) 午後から「視察」、夜は地元の方と交流する「夜なべ談義」がございます。宿泊は事務局手配のところでお願いします。10日(日) 午前は分科会に参加いただきます。会員以外で、夜なべ談義参加・宿泊希望の方はご一報ください。詳しくは「スローライフの会」ホームページをご覧ください。https://www.slowlife-japan.jp/
・申し込みは10月10日(木) までにメールで。E-mail: slowlifej@nifty.com



雲の上の図書館 ※視察予定



「梶原町若者定住対策審議会」
40歳以下の若者を中心としたグループ。通称「わかてい」。町を面白くするいろいろなことを考えています。



「県立梶原高校」
地域に貢献する動きを役場とともに進めています。海外の高校生とも交流中です。インスタグラムをご覧ください。

『令和7年度 梶原町新エネルギー等 活用施設設置補助金』のご案内

梶原町では再生可能エネルギーの普及や脱炭素社会の実現に向けた取組みの一環として、下記の機器をご家庭に設置する場合、その費用の一部を補助しております。設置を検討されている方は、11月頃実施予定の要望調査にてお知らせください。

＜補助対象設備・補助金額一覧＞

○住宅用太陽光発電システム

出力1kwあたりの金額の1/2（4kwまでで上限80万円）

○家庭用蓄電システム（太陽光発電システムに接続）

本体価格+付属機器の1/4（上限80万円）

○ペレットストーブ

本体価格の4/5（上限33万6千円）

燃料のペレットは「ゆすはらペレット(株)」にて購入できます（税込396円/10kg入）

○自然冷媒ヒートポンプ給湯器（エコキュート）

本体価格+対象部品（リモコン、脚部カバー）の1/4（上限25万円）

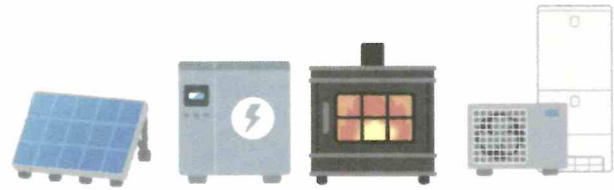
○複層ガラス

本体価格（サッシ代は含まない）の1/4（上限4万円）

他4種類

※補助要件を満たすものであれば、どのメーカーのものでも設置できます。
※設置前申請となります。補助対象機器設置後の申請は受付出来ません。
※過去に補助金の交付を受けたことがある方は、再度同一機器の補助金の 交付を受ける事は出来ません。
※機器の設置は、設置予定者の方が自ら居住する町内の住宅に限ります。
※要望調査時に要望のなかったものについては、来年度に補助金の活用はできませんのでご注意ください。（追加要望は受付できません。）

補助要件・申請方法等につきましては、梶原町ホームページまたは下記までお問い合わせください。



お問合せ先

梶原町役場 森林づくり脱炭素推進課
再生可能エネルギー推進係
TEL 0889-65-0811

全国地域安全運動

10月11日（金）～10月20日（日）

留守のお家・駐車車両には鍵をかけましょう！

★重点目標★

- ① 子どもと女性の犯罪被害防止
- ② 特殊詐欺被害防止
- ③ 自転車盗難及び万引き被害防止

地域社会の安全が確保され、安心して暮らせることは、私たち全ての県民の願いであるとともに、県民生活の基盤となるものです。

県民皆が安心して日常生活を送れる社会を実現するためには、地域の一人ひとりが、「自分たちの安全は自分たちで守る」、「地域の安全は地域で守る」という「自主防犯意識」を持つことが大切です。

「散歩」や「通勤中」、「買い物への道中」といった日常生活の中で行う「ながら見守り」など、何かをしながらでも、無理なく安全で安心なまちづくりに貢献することが出来ます。

一人でも多くの方が地域安全運動に参加するよう、ご協力をお願いします。

広報 ゆすはら

須崎警察署
梶原駐在所
高橋 宣裕
☎0889-65-0110

留守・空き家に気をつけて！

8月中旬頃、四万川地区において長期間不在にしていた家屋の庭から流し台が盗まれるという盗難事件が発生しています。

空き家や、長期間不在にしている家のまわりの近所に住む方は、うろをうろと見つけた場合は通報をお願いします。

近年、活発な秋雨前線の活動による集中豪雨が頻発し、各地で河川の氾濫、道路の冠水、崖崩れ等が発生しています。

急な豪雨が発生した際、各地で田畑や川、船の様子を見に行ったり人が行方不明になる事案が多く発生しています。

気になることがあっても、外に出ず、安全な場所に居ましょう！

家族・友人の絆で防ごう特殊詐欺！

県内では特殊詐欺の被害が後を絶ちません。「高額当選の受け取り」、「給付金の受け取り」、「コンビニエンスストアの除去手数料」等を名目として、コンビニなどに誘導して「マネー」を渡させる手口が増えています。

また、サイトで副業を検索した人がその副業の開始手数料として、指定された口座に振り込まされたものや、架空の投資話で、その費用として指定された銀行口座に振り込んだという被害も発生しています。

特殊詐欺被害から身を守るためには、日ごろから家族・友人間でコミュニケーションを取り、その絆を深めることが大切です。

○家族等で話し合って拒否力をつけよう
新聞やテレビのニュース等で流れる特殊詐欺について関心を持っていたら、家族・知人・近隣間で詐欺の手口等を話し合っておきましょう。

○こまめに連絡を取り合おう
被害に遭った方は被害に気づかなかったり、被害に遭った自分を責めて相談しないことがあります。

○留守番電話設定や、ナンバーディスプレイ・自動通話録音機能は、特殊詐欺被害を防ぐために有効な手段です。

機械に弱い方もいらつしやいますので、そうした方には家族・友人の方で使用する状況に於いてあけてください。

この通話は詐欺のためにはかかりません

詐欺よ！

母さん、ありがとう

おまかせないでよ

梶原町
雲の上の図書館

秋まつり

同時開催：YURURI作品展

人と人が出会う町ゆすはら。秋の行楽シーズンには是非お越しください。

2024年
11月16日(土)
会場：雲の上の図書館

美味しい秋、読書の秋を満喫♪

10:00スタート ・うまいもん市

- ・お茶席
- ・本の譲渡会
- ・一箱古本市
- ・しまんと新聞ばっぐ体験会
- ・フリーマーケット



スペシャルゲスト from Tokyo



尺八奏者
石垣征山
いしがき せいざん

父が尺八演奏家、母が箏演奏家という家庭環境に生まれ、幼少より邦楽に親しむ。東京藝術大学音楽学部邦楽科に入学し、人間国宝・山本邦山に師事。大学卒業後、父、征山の名を襲名。古典のみならず、バンド音楽やゲーム音楽など多様なスタイルで尺八の魅力を発信し続ける、現代邦楽の若手トップランナー。

ステージイベント盛りだくさん♪

12:30スタート

- ・絵本の小部屋（読み聞かせ）
- ・ゆすはらオカリナ倶楽部
- ・ししまる太鼓
- ・チームゆすはらよさこい演舞
- ・フラダンスnaniゆすはら
- ・石垣征山（尺八演奏）

【お問い合わせ】0889-65-1900(雲の上の図書館)

図書館
あきまつり
2024

一箱古本市

開催します



本の種類はなんでもOK
(文庫本、漫画、雑誌...)

出店を希望される方は
事前のお申込みをお願いいたします。
お電話または図書館カウンターまで

申し込み期限：11月11日

日時

11月16日(土)
10:00~15:00

場所

図書館前芝生
(雨天時:館内)

《参加される方へのお願い》

- ・一人一箱に収まる量でお願いします。
(大きさ指定はありませんが持ち運べる範囲の重さで)
- ・譲渡の冊数はご自身で決めていただいて構いません。
- ・本の管理はご自身でお願いいたします。箱にずっと付いていただく必要はありません。
- ・お持ちいただいた本は全てお持ち帰りください。
(撤収はいつでも可能です。撤収時は職員にお声がけください)
- ・譲渡会になりますので、金銭のやり取りはご遠慮ください。

※今回は個人参加のみになります(屋号は自由につけていただいて構いません)



お問い合わせはこちらまで▶0889-65-1900 雲の上の図書館

栲原町学校応援団だより No.2

令和6年9月24日 発行

栲原町学校応援団 65-0120

栲原町学校応援団の活動をお知らせします。
地域の皆さま、いつもご協力ありがとうございます。

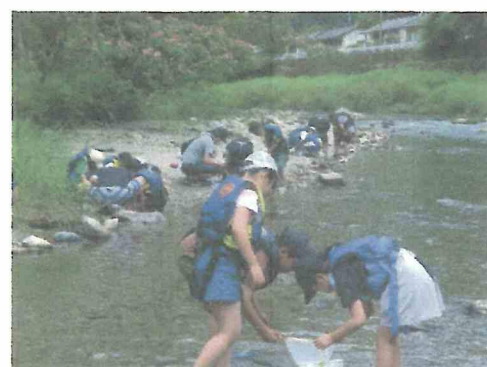
学校支援部会

6月17日(月)

4年生が水質調査の事前学習として森林組合の方にお越しいただき、自分たちで調べ考えた「綺麗な川」とは何か、どんな生物がいるのかを発表しました。調べる中で疑問に思った事、気になった事は質問し答えていただくなどしっかり事前学習ができました。

7月9日(火)

事前学習したことを基に実際に栲原川へ行き水質調査を行いました。森林組合さんのお話を教室で聞いた後、川へ移動し調査をしました。たくさんの数の生物がいて、見分けるのも難しい様子でしたが、みんなで協力したり講師の方に質問したりしながら楽しく調査することができました。



9月5日(木)

9年生が木曜日の朝の読書の時間に1、2年生へ読み聞かせをするにあたり、絵本の小部屋の皆さんに読み聞かせの指導をしていただきました。読む時のポイントや注意点を聞いたあと、絵本を持ち読む練習も行いました。

実際に9月末から1、2年生の教室に入り、読み聞かせを行います。



地域活動部会

7月20日(土)

和太鼓クラブが栲原みどりの家「涼みの集い」で演奏させていただきました。

子どもたちは出演できることをとても喜んで、短い期間ではありましたが一生懸命練習を頑張りました。本番では緊張を感じさせない、堂々とした演奏を披露してくれました。



地域活動部会の1学期の活動として、毎週木曜日に栲原茶道クラブの皆さんに茶道を教えてくださいました。

お茶のいただき方も学びながら、美味しいお菓子を食べ、和気あいあいと茶道を楽しむことができました。

昨年度の引き続きの子も多く、経験のある上級生が下級生に教えてくれる場面も多々ありました。



放課後子ども教室部会

～夏休み子ども部会～

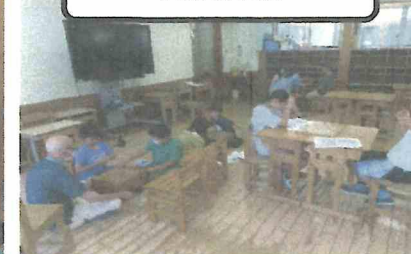
夏休み子ども部会では、今年もたくさんの方々にご協力いただき様々なイベントを開催しました。民生委員児童委員さんとのカレー作り、エプロン会さんとの調理実習では、協力いただいている方々に積極的に質問をし、真剣に調理に取り組む子どもたちの姿が見られました。

暑い日が続いた夏休みでしたが、涼しい時間には外遊びをしたり、ゲートボール体験やドッジボール大会などもあり、たくさん体を動かして楽しく過ごすことができました。

防災について



将棋体験



アイスクリーム DAY



暑い日のアイスは
おいしいね！

エプロン会さんとの交流



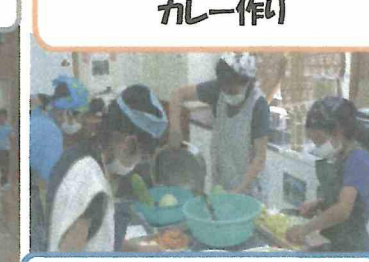
ゲートボール体験



ドッジボール大会



民生委員児童委員さんと
カレー作り



エコバッグ作り



図書館で遊ぼう



絵本の読み聞かせ



みんなで参加♪

「県内一斉避難訓練」

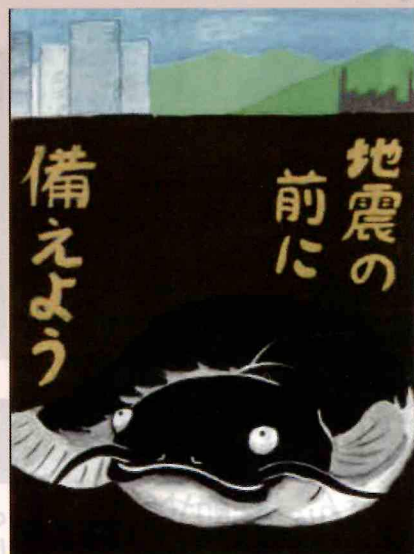
「地域のみんなで自主防災訓練」



訓練実施日: 令和6年11月5日(火)

① 県内一斉避難訓練

地震による津波、土砂崩れや建物倒壊、火災などを想定した避難訓練を県内で一斉に行います。実際に避難して、避難場所や経路の問題点を確認しましょう！



高知小津高等学校1年 篠原虎珀さんの作品



津野町立葉山中学校2年 長山咲良々さんの作品

② 地域のみんなで自主防災訓練

それぞれの市町村やお住まいの地域で炊き出し、初期消火、倒壊家屋からの救出訓練、救命講習、防災学習など、地域の実情に合わせた訓練や学習会を行いましょう！

「いざ」というときには、ご近所同士の助け合いが大切です。

お問い合わせ

訓練の詳しい内容や場所に関するご相談は、お住まいの市町村の防災担当課、高知県南海トラフ地震対策課または防災砂防課までお問い合わせください。

高知県庁 【南海トラフ地震対策課】

電話: 088-823-9317

【防災砂防課】(土砂災害に関して)

電話: 088-823-9845



ゆうどうくん

※掲載作品は、令和4年度「南海トラフ地震に備えよう！」啓発ポスター・標語コンクール(ポスター部門)における受賞作品です。

高知県防災キャラクター©やなせたかし

11月5日は「津波防災の日」・「世界津波の日」

11月5日は
津波防災の日

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓として、平成23年6月に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、11月5日が「津波防災の日」と定められました。
また、平成28年12月には国連総会で同日が「世界津波の日」に制定されました。

11月5日の「津波防災の日」・「世界津波の日」には、津波対策についての理解と関心を高めるため全国各地で避難訓練が開催されます。



たいさくくん

地震や津波から素早く避難するためには、普段から何度も避難訓練をしておくことが大切です。
いろんな避難訓練をやってみよう！



ヘルパちゃん

要配慮者がいることを想定した訓練

◆高齢者、乳幼児、妊産婦、障害がある方、外国人の方などは支援が必要です。全員が安全に避難できるよう地域で支援体制について話し合い、車いすやリヤカーを使った避難訓練などを行っていきましょう。



最短ルートで避難できない場合の訓練

◆地震が発生した場合、斜面の崩壊や液状化被害、建物・ブロック塀が壊れて道路の一部が通行できない場合等が考えられます。そこで、避難経路に避難の妨げになりそうなものはないか確認してみましょう。また、いくつかの避難経路での避難訓練を行っていきましょう。



夜間や早朝の訓練

◆地震はいつ起こるかわかりません。季節や時間帯によって様々な問題が想定されるため、昼間の訓練だけでなく、夜間や早朝に発生したことを想定した避難訓練などを行い、避難経路や避難場所の再確認を行いましょう。



高知県防災キャラクター©やなせたかし